

事業区分
金銭給付

平成27年度 事務事業評価シート

事務事業名	難病患者福祉手当				所管	福祉部		
						障害福祉課		
事務事業の概要	事業の開始・終了年度		[事業開始]	昭和 5 0 年度	[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	台東区難病患者福祉手当条例、台東区難病患者福祉手当条例施行規則				
	事業対象	申請時65歳未満で、難病医療費等助成制度の対象疾病(129疾病)に罹患している者。						
	事業目的	原因、治療法等のわからない難病患者に手当を支給し、心身の安定と福祉の向上を図る。						
	事業内容	対象者に、月額15,500円を年3回(4月、8月、12月)支給する。						
	委託の有無	なし	委託内容					
	補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	24年度	25年度	26年度	
	活動指標	受給者数	人	630	566	583	619	
	成果指標							
	決算額	(単位：千円)			102,911	106,716	111,754	
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			2,569	2,983	2,975	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			116	123	154	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			102,796	106,594	111,600	
		総経費			105,481	109,700	114,729	
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			60	20	171	
一般財源(区負担額)			105,421	109,680	114,558			
前回評価から改善した事項	医療券の管理を行っている関係課との連携を引き続き密にして、対象者の把握に努めた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	手当の対象疾病が82疾病から129疾病に拡大された。難病患者の生活基盤を支援する上で必要な手当である。					
	効率性	3	金融機関の振込システムを活用するなど、効率的な事務処理に努めている。					
	手段の適切性	3	本手当を支給することにより、難病患者の生活の安定に寄与しているため、福祉の向上を図るうえでも必要である。					
目的達成度	4	数値に関しては、予定受給者数に到達しており、年々受給者が増加傾向にある。						
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性			
難病医療費助成対象疾病の拡大に伴い、難病患者の自立を支え在宅生活を支援する上で、事業の拡大が必要である。					拡大			
					拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			